

2010年7月20日

2011年3月卒大学生・大学院生 「就職活動実態調査」

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO: 柏木 齊)は、2011年3月卒業予定者を対象に就職活動に関するアンケート調査を実施いたしました。ここに、集計結果がまとまりましたので、抜粋してご報告申し上げます。

■就職活動における心理

先輩の就職活動を見て、「厳しい就職環境が続くから、自分もがんばらなければならないと思った」学生が67%。逆に「なんとかなる」と楽観視するのは17%で少数派。現在の就職活動に対する心境は「辛い・大変」が半数に及んでいる。一方で、「楽しい」と答える学生も27%。

■就職活動の状況

インターンシップに参加した学生は41%。OB・OG訪問をした学生は全体の24%で、そのうち67%の学生は2人以上のOB・OGを訪問している。エントリーについては、3月時点で98%の学生が行っている。1人当たりのエントリー社数は21~50社が全体の33%を占める。

■就職活動における周囲とのかかわり

就職活動の相談相手は友人・知人が85%。次いで多かったのが両親など保護者で全体の42%であった。また32%の学生は「キャリアセンター・大学の教授など」に相談しているという結果もあり、大学側の就職サポート体制に期待を寄せていることが垣間見えた。実際に保護者にかかわってもらったことは、保護者に相談した学生のうち39%が「自己分析(他己分析)」と回答。少ないながら、「会社説明会」、「企業への問い合わせ」という回答も見られた。一方、保護者にして欲しいサポートは金銭面が55%と過半数に及んでいる。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

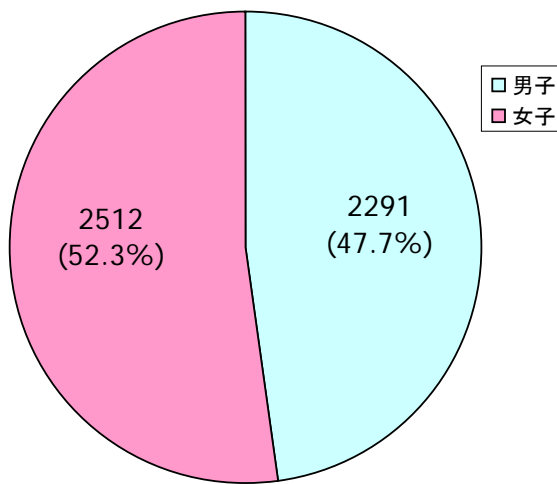
【調査概要】

- 調査目的 「就職活動の実態」を把握し、関係各位の参考に供する
- 調査対象 2011年3月卒業予定のリクナビ(※)会員 男女 496,274名
(※)リクナビ:株式会社リクルートが開設している、就職活動を支援するサイト
<http://job.rikunabi.com/2011/>
- 調査方法 調査対象者に対し、メールで調査を告知。調査用のホームページ上で回答を回収した
- 調査期間 2010年3月9日～2010年3月24日
- 回収数 4,803名(回収率 0.97%)
- 集計対象数 4,803名

【回答者プロフィール】

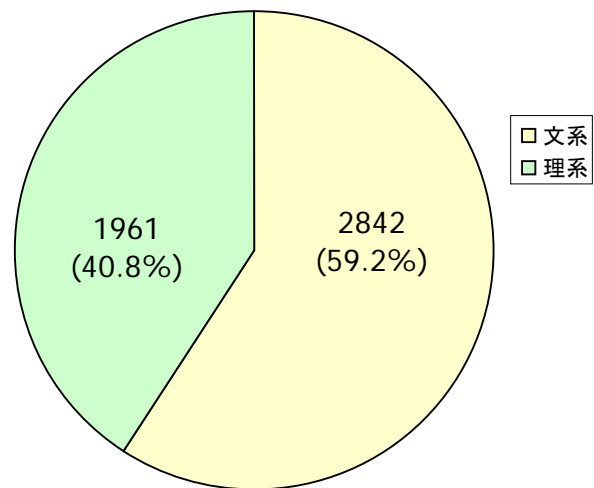
■ 性別 (n=4803)

(単一回答)



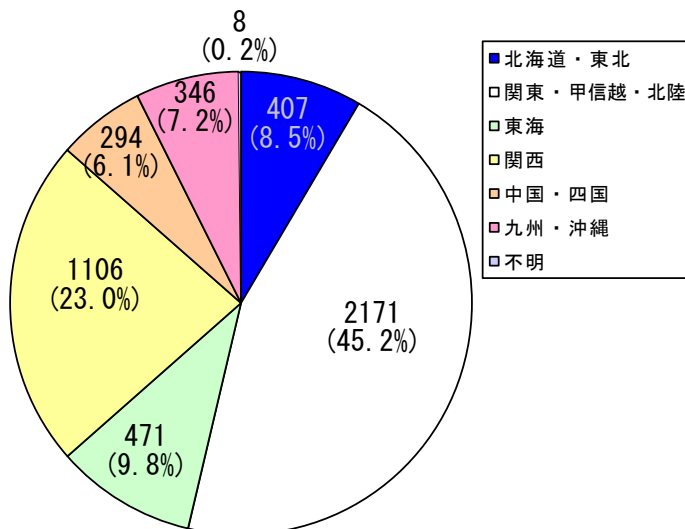
■ 専攻 (n=4803)

(単一回答)



■ 居住エリア (n=4803)

(単一回答)



北海道・東北	407	8.5%
関東・甲信越・北陸	2171	45.2%
東海	471	9.8%
関西	1106	23.0%
中国・四国	294	6.1%
九州・沖縄	346	7.2%
不明	8	0.2%

a) 就職環境に対する印象

先輩の就職活動を見ての感想は、「厳しい就職環境が続くから、自分もがんばらなければならないと思った」が67%、「厳しい就職環境が続くけれど、自分はなんとかなるんじゃないかと思った」は17%と楽観的な意見は少ない。実際に就職活動を始めてからの心境を尋ねたところ、「楽しい」が27%、「辛い・大変」が52%という結果に。現在の就職活動を「辛い・大変」と感じている学生よりも「楽しい」と感じている学生に「がんばらなければ」と思う人が若干多い。

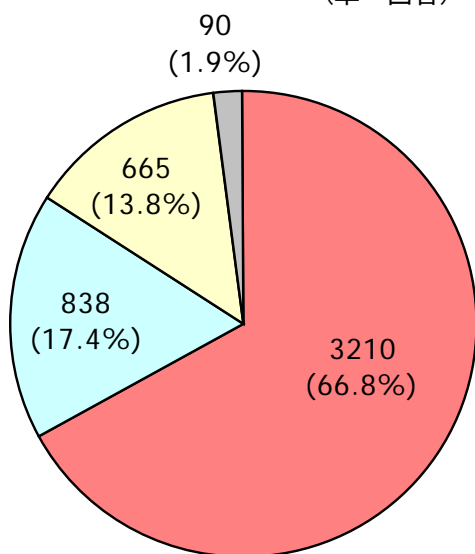
全体的には楽しいと思う理由として「いろいろな人に会えるのが楽しい」をあげた学生が74%、「大人とやりとりすることが勉強になったり、視野が広がるのが楽しい」をあげた学生が71%と、社会人との接点が増えることや、それに伴う新たな自己発見に楽しさを見出している様子がかがえた。

逆に「辛い・大変」の理由は「この厳しい就職環境では、自分が内定をもらえる気がしないから」「内定をもらえなかった後のことを考えると憂鬱だから」がともに80%超と、就職活動の先行きに不安をつのらせる学生が多くなっている。

■一つ上の先輩の活動を見てどう感じたか

(全体/n=4803)

(単一回答)

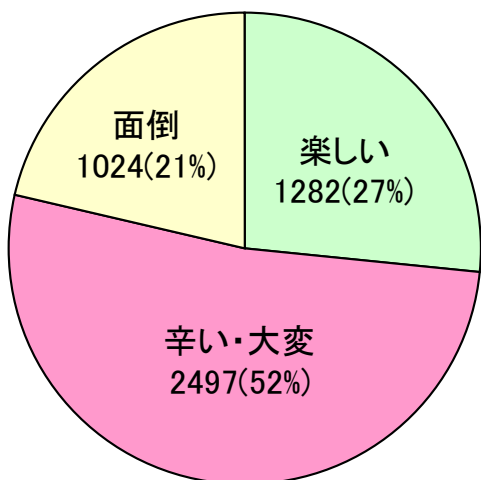


- 厳しい就職環境が続くから、自分もがんばらなければならないと思った
- 厳しい就職環境が続くけれど、自分はなんとかなるんじゃないかと思った
- 先輩の活動状況をあまりよく知らない
- その他

■現在の就職活動に対する心境

(全体/n=4803)

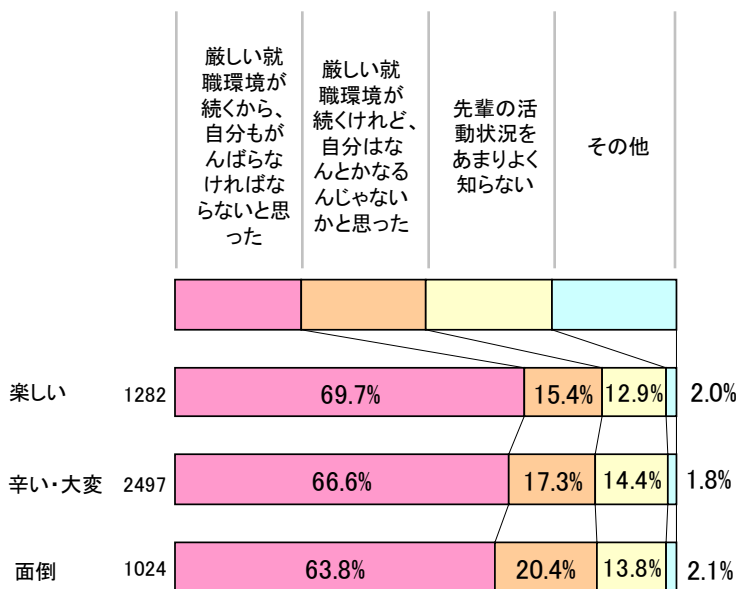
(単一回答)



■一つ上の先輩の活動に対する印象(心境別)

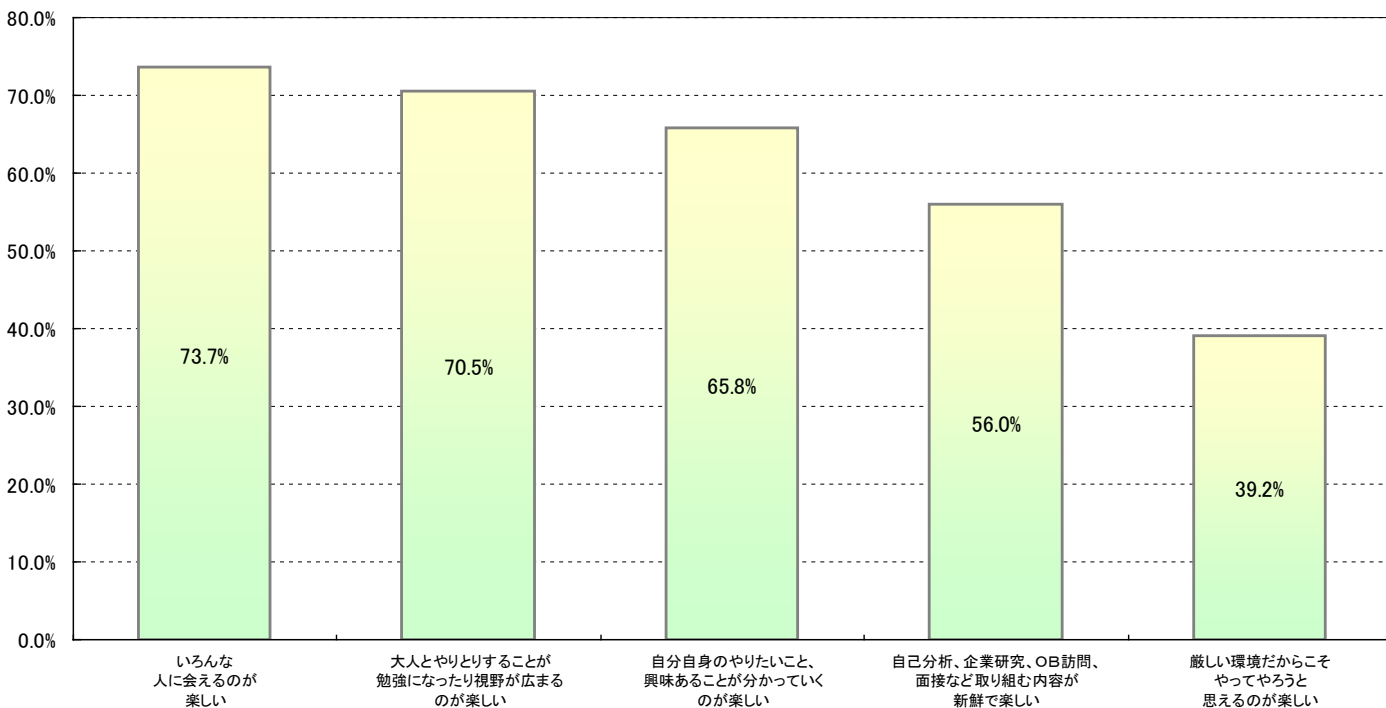
(全体/n=4803)

(単一回答)



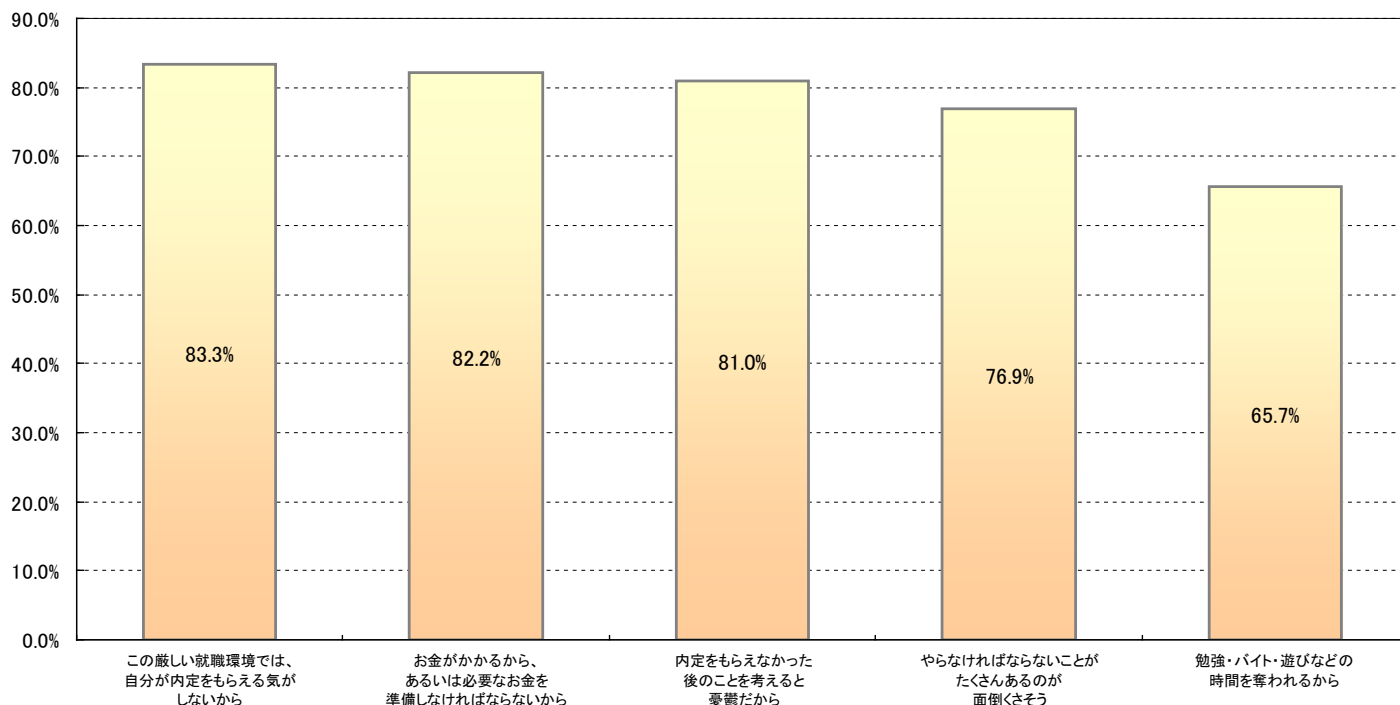
■「楽しい」と思う理由は何か
 (現在の就職活動の心境「楽しい」/ n=1282) ※上位5項目を記載

(複数回答)



■「辛い・大変」と思う理由は何か
 (現在の就職活動の心境「辛い・大変」/ n=2497) ※上位5項目を記載

(複数回答)

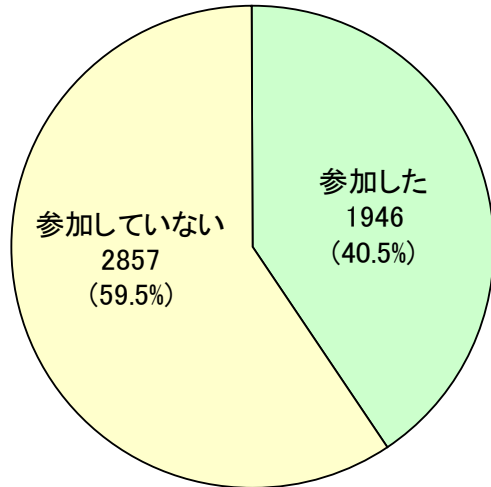


Ⅱ 就職活動の状況

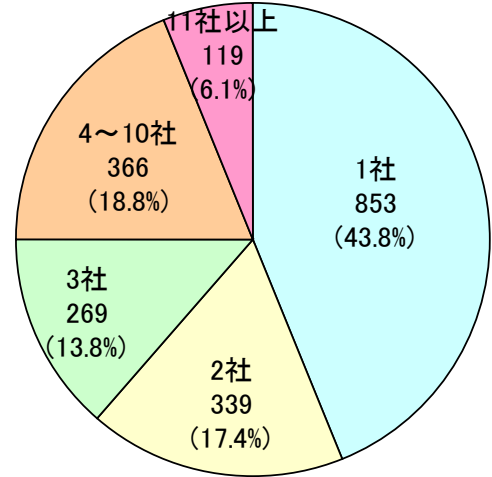
a) インターンシップへの参加

インターンシップに参加している学生は41%。また参加をした学生の参加社数は「1社」が44%を占める一方、4社以上に参加している積極的な学生も約4分の1に及ぶ。「11社以上」のインターンシップに参加した学生も6%見られた。

■ インターンシップ参加の有無
(全体/n=4803) (単一回答)



■ インターンシップ参加の社数
(インターンシップ参加の有無「参加した」/n=1946) (単一回答)

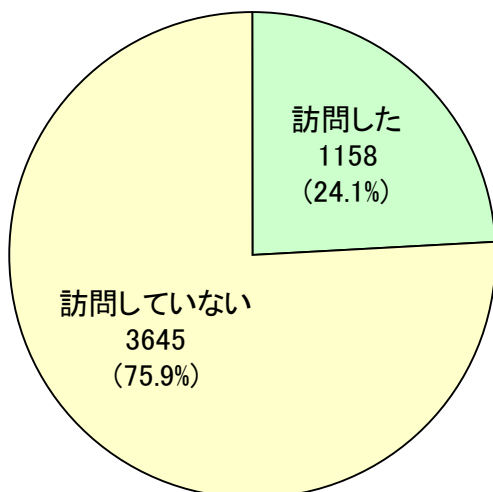


※インターンシップの参加社数について問い、0社を「参加していない」、1社以上を「参加した」とした。

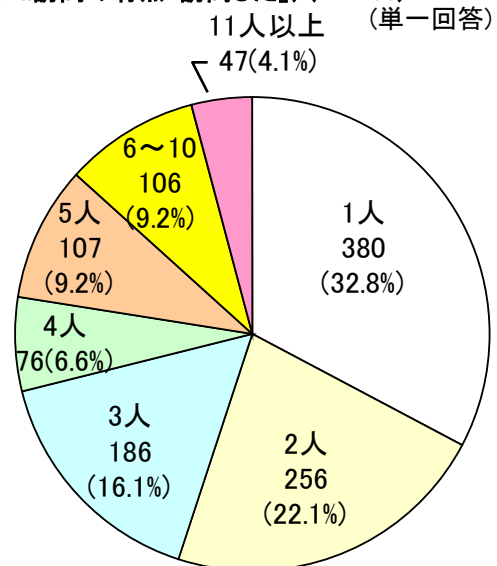
b) OB・OG訪問

就職活動に際し、OB・OG訪問をした学生は24%。訪問した学生に訪問OB・OGの数を聞いたところ、2人以上の複数OB・OGを訪問した学生は67%に及んでいる。

■ OB・OG訪問の有無
(全体/n=4803) (単一回答)



■ OB・OG訪問人数
(OB・OG訪問の有無「訪問した」)(n=1158) (単一回答)

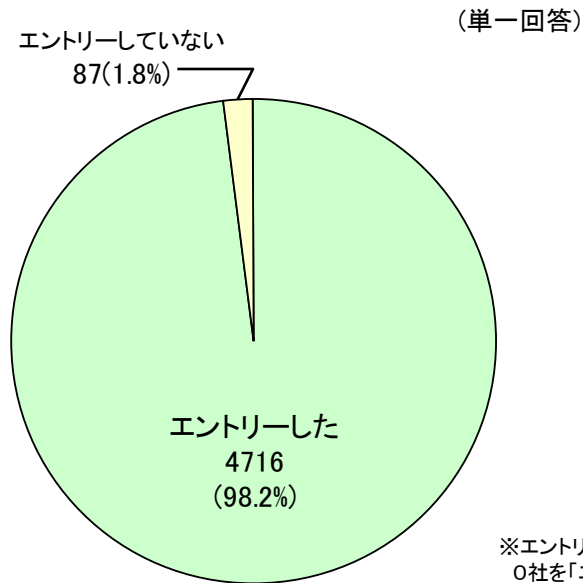


※OB・OGの訪問人数について問い、0人を「訪問していない」、1人以上を「訪問した」とした。

c) エントリー社数

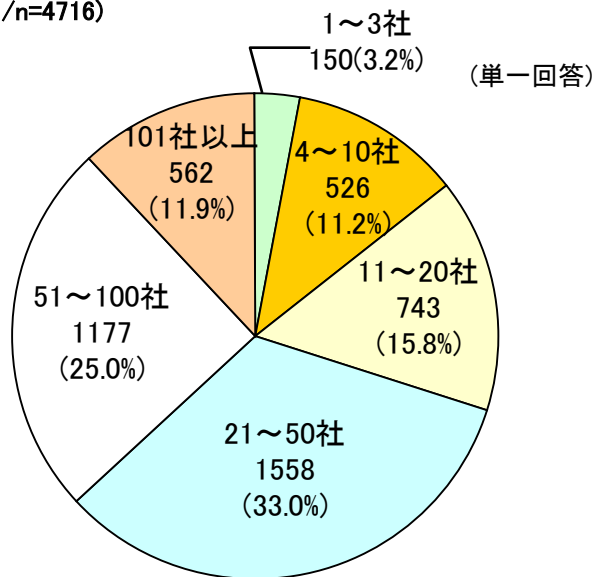
エントリーの有無は3月時点で98%の学生が少なくとも「1社」以上の会社へのエントリーをしている。エントリー学生1人当たりの社数は「21社～50社」が全体の33%を占めている。

■ エントリーの有無 (全体/n=4803)



※エントリー社数について問い、0社を「エントリーしていない」、1社以上を「エントリーした」とした。

■ エントリー社数 (エントリーの有無「エントリーした」/n=4716)

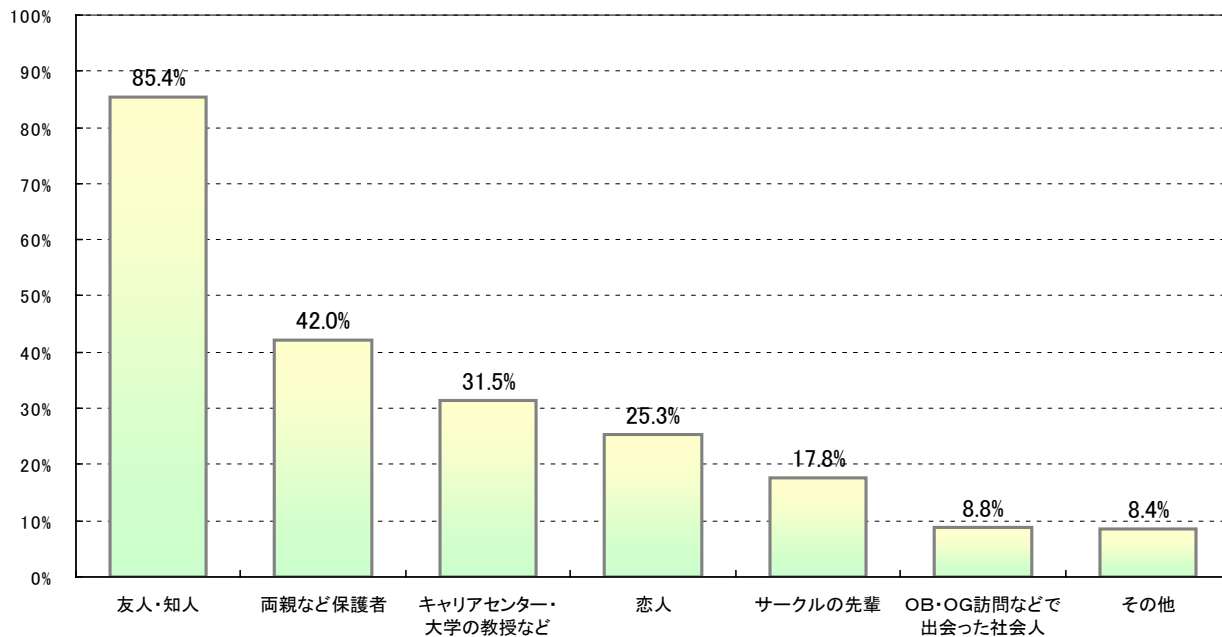


就職活動の相談相手

就職活動の相談相手は1位が「友人・知人」で85%。次いで多かったのが「両親など保護者」で全体の42%。また、学生の約3分の1は「キャリアセンター・大学の教授など」に相談している。

■就職活動の相談相手
(全体 / n=4803)

(複数回答)



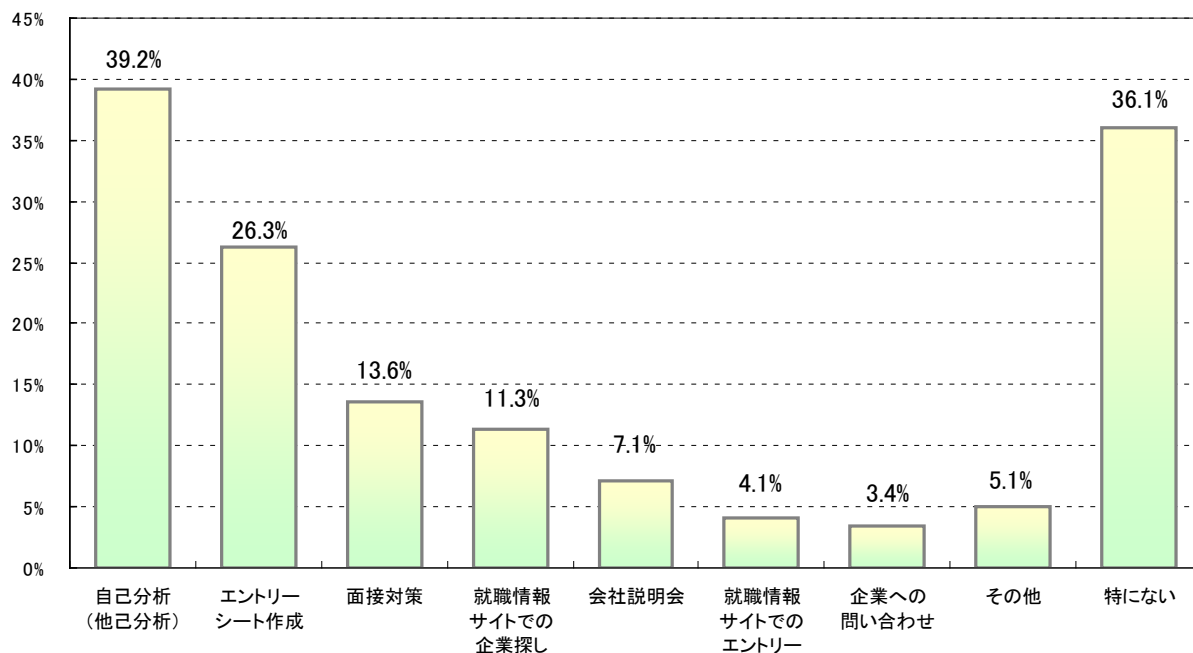
Ⅲ 就職活動における周囲とのかかわり

c) 保護者とのかかわり

就職活動の相談相手として「保護者」を選んだ学生を対象に、実際に保護者にかかわってもらったことを尋ねたところ、「自己分析(他己分析)」(39%)がもっとも多く、次いで「エントリーシート作成」にも4分の1を超える学生が親にかかわってもらっていると回答。なかには少数意見ながらも「会社説明会」「企業への問い合わせ」でも親の関与があったという学生が見られた。

■実際に保護者にかかわってもらった行動
(就職活動の相談相手「保護者」/ n=2018)

(複数回答)



d) 保護者に求めるサポート

保護者に求めるサポート内容について尋ねたところ、金銭面が55%と圧倒的な割合を占めた。次いで「とにかく、そっとしておいてほしい」が32%だった。

「社会人としての心がまえを教えてほしい」「敬語やマナーについて教えてほしい」といった、人生や社会人の先輩としてのアドバイスを求める学生も3割近く見られた。

■保護者にしてほしいサポート
(全体/ n=4803)

(複数回答)

